



# 九条の会

九条の会奈良県ネットワーク運営委員会  
 発行責任者 佐川愛子  
 ✉ nara9jyonokai@gmail.com  
 ☎ 090-9885-9756  
<http://blog.goo.ne.jp/9naranel>  
<http://www.nara9jyonet.com>  
 41号 2020年4月24日発行



会議や集会、街宣も中止に。でも、安倍改憲の動きは、奈良県議会意見書にみられるように着々とすすまられています。憲法審査会さえ開けば強行に発議まで持ち込む世論づくりです。「緊急事態宣言はゆるやか」と緊急事態条項への布石はマスコミを通じて作られています。九条の会地域・分野では、様々に工夫された取組が行われています。

九条の会奈良県ネットワークへの2020年度の協力金をお願いします。  
**送付先:** ゆうちょ銀行  
 記号 14530 番号 27006271  
 九条の会奈良県ネットワーク

各地域・分野九条の会各位

2020年4月15日

「九条の会」奈良事務局・九条の会奈良県ネットワーク運営委員会

## 第14回奈良県憲法講座の中止及び当面する安倍改憲阻止のとりくみについて

新型コロナウイルスが広がるなかで、感染防止に留意しながら安倍改憲阻止、憲法審査会の開催を許さない緊急署名にとりくんでおられる皆様、たいへんご苦勞様です。さて、すでにメールなどでお知らせしていますが、5月6日に予定していました第14回憲法講座は中止することにしました。講師の渡辺治さんから問い合わせのメールがありました。その中で「東京は、緊急事態宣言が出され、外出自粛要請が出されていますが、感染拡大が止まりません。私の関係する講演も、今月は全て中止・延期、来月も中止・延期の連絡が相次いでいます。九条の会事務局としても、九条の会のパンフレットもできたので、講演等で普及の取り組みをしなければならないのですが、それもできないので、さしあたり、パンフを読んでいただくことを重点に取り組んでいます。」安倍・自民党、日本維新の会などは、コロナ感染症での非常事態宣言の発令にかかわって非常事態条項、自衛隊の明記を一体化した憲法「改正」を促進する動きが強まっています。地方自治体議会においても奈良県議会が2月定例県議会で憲法審査会での憲法論議を促進する意見書(日本共産党県議会議員団は反対し、退席)を採択しています。

私たちは、コロナ感染防止対策をしながら、以下のとりくみをすすめます。

- 一、「改憲発議に反対する全国緊急署名」をコロナ感染防止対策に留意しながら進める。返信用の封筒と署名用紙を入れ、知人に送る、プラスターなどを掲げたスタンディングをするなど県内の九条の会ですすすめられています。
- 二、自宅での新刊ブックレット「安倍改憲のねらいと危険性」などの学習

以上

新刊ブックレットの注文 九条の会 Eメール [mail@9jounokai.jp](mailto:mail@9jounokai.jp)

電話 03-3221-5075 FAX 03-3221-5076 1冊400円 10冊以上320円(送料別)

新刊ブックレットの内容

- I 安倍改憲のねらいと危険性 —自衛隊明記論を中心として— 山内 敏弘(一橋大学名誉教授九条の会世話人)
- II 安倍改憲をめぐる新たな情勢と阻止のたたかい  
 渡辺 治(九条の会事務局/一橋大学名誉教授)  
 はじめに 小森 陽一(九条の会事務局長/東京大学名誉教授)  
 あとがき 小沢 隆一(九条の会事務局/東京慈恵会医科大学教授)

### 2019年度会計決算報告

収入の部		支出の部	
項目	収入額	項目	支出額
2018年度繰越金	¥24,927	交流会会場費(3回)	¥4,250
2019年度協力金	¥63,000	運営委員会会場費	¥9,200
		ホームページサーバー代	¥11,644
		資料代	¥32,608
		通信費	¥4,299
		予備費(次年度繰越金)	¥25,926
合計	¥87,927	合計	¥87,927

2019年度会計報告です。収入は20地域・分野からと個人カンパ6000円で63000円でした。支出は62001円でした。次年度繰越は25926円です。ご協力ありがとうございました。

チラシ「改憲の本音」2万3千枚配布が終了しました。ご協力ありがとうございました。奈良市九条交流会では1万5千枚を全戸配布。16名のボランティア配布、個人カンパ2万4千500円が寄せられました。

チラシ「へいわってすてきだね」は、7千枚在庫があります。

平城ニュータウン九条の会は4月9日15時から1時間、チラシ配布を中心に街宣を行いました。新型コロナウイルス対策で署名活動は行いませんでした。チラシは当時小学校1年生の沖縄在住の子どもの詩「へいわってすてきだね」（絵本作家長谷川義史さんの絵）を配りました。母親連れの子ども達が受取って絵に見いって来ていました。通路に国連広場イザヤの壁に書かれている言葉を読んでくれる通行人もいました。



桜井九条の会は3人集まれば毎月9日街宣を続けています。4月9日午後4時から30分間だけですが、5人でスタンディングアピールをしました。チラシとプラスターを見たり、「署名をお願いします」という声に会釈をして通り過ぎる人も数人いました。駅前ですが、乗降客も少なく寂しい宣伝でした。タクシードライバーさんは、「俺らは年金もらっているけど、若い運転手はお客さんが減って大変だと思う」と応じてくれました。少人数でも、続けることが大切と思っています。（九条の会ニュース 371号に掲載）

奈良市九条の会交流会は3月31日学園前で街宣行動を行いました。16名が参加。新型コロナ感染対応のため、署名はやめて、チラシ配布と蟻の会の歌やトークでした。新型コロナで重たい気分が「蟻の会の歌声は元気がでます」との参加者の声。参加者も一緒に歌声の輪に。今回、初めて歌われたのは、エノケンの歌「これが自由と言うものか」です。これは、1954年、当時はお笑いと言えば権力者を批判して笑わせる風潮が多く、彼はNHKラジオ番組の人気者で、この歌を歌ったのです。それを聴いた吉田茂首相が圧力をかけ、この番組を止めさせ、NHK会長は更迭。（歌詞は長いので、ホームページの資料編・収録曲に載せませす）チラシを熱心に読んでいた年配の男性がいました。「へいわってすてきだね」の詩と長谷川義史さんの絵のチラシを「1年生の子どもが作った詩ですよ。読んでみて」と言うと小学生や中学生が手にとって読んでくれました。中村哲さんの言葉をプラカードに、国連広場イザヤの壁に書かれている言葉を横断幕に書きました。「彼らはその剣を鋤き、その槍を鎌に打ち直し 国は国に向かって剣をあげず 二度と戦うことを学ばない」（九条の会ニュース 第370号に掲載）



登美ヶ丘九条の会の活動紹介  
登美ヶ丘茶論(サロン)が月1回発行されています。  
「茶論への御投稿をお待ちしています。日頃思うこと、感じること等どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください」との世話人の呼びかけに、  
\*安倍さん、両祖父と大叔父に恥ずかしくないか!  
\*語るに落ちる 安倍首相の国会答弁  
\*街宣活動ビラ配りを気持ちよく受け取って頂くには  
\*戦争の経験と憲法を大切にする努力  
\*憲法事態条項とワイマール憲法  
などの投稿、地域のみなさんの交流の「サロン」になっています。川柳や挿絵も好評です。（奈良九条の会ホームページ「ニュース」の欄に掲載されています）

参加者の感想  
街宣活動のビラ配りを気持ちよく受け取っていただくには… 街宣活動で街行く方々に我々の思いをお伝えするにはどうしたら良いのでしょうか？ 気持ちよく受け取っていただく環境（当方と相手の方との）づくりではないでしょうか？ これが意外と難しい。気持ちよく受け取っていただければ、読んでいただくことにつながりますしね。私はビラ配りの絶好場、駅の改札口前で待ち構えておりました。丁度その時、北口広場から合唱団の歌声が響いてきました。曲はいつの間にか昔懐かしい「故郷」の曲です。その合唱は北口改札から出てくる乗降客を誘導しはじめました。「山は青き故郷、水は清き故郷」の詩歌に迎えられると、帰途につく乗客の皆様も、演奏や合唱に合わせてハミングしながらビラを受け取られ、また署名に心よく賛同しながら、やはり日本はいい国にしなけりや、と共感いただいたようで、家路に向われたようでした。今回のこんな素敵な出会いと触れ合いに、街宣活動で応援していただいた各九条の会の皆様に、厚くお礼申し上げます。（Xさん） - 心から平和を願い、二度と戦争はイヤだ、の思い一筋で街頭宣伝に参加された切々たる思いが伝わってきました

コロナ対策で休校や自粛が行われ、突然の解雇で家や車のローンが払えないなど県民の生活が深刻さを増している中、大多数の市民が改憲などもとめていないにも関わらず、奈良県議会で「国会における憲法論議の推進と国民的議論を求める意見書」が3月25日に採択されました。（意見書は九条の会奈良ホームページに掲載）青森県・愛媛県でも意見書が採択されています。

